

事務事業評価の評価結果について（平成29年度の事業に対する評価）

久居総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
久居・地域振興課	観光振興事業（久居総合支所）	津市の貴重な地域資源である名湯榊原温泉の振興及び地域の振興のため、温泉及び観光事業に係る調査・研究・検討やイベントの実施、PR活動等を行うことにより、榊原温泉の活性化と誘客を促進する。	榊原温泉全体の利用客数	榊原温泉全体を対象とした事業であることから、榊原温泉全体の利用客数を指標とする。	350,000人	325,663人		「蛍灯」・「ひな祭り」等のイベント実施や東京・三重テラスでの「津デイ」をはじめとした県内外のイベント参加により誘客の促進を進められた。また、平成28年度実施の温泉調査で実証された入浴効果をイベント、インターネット、パンフレット等で広くPR活動を行い継続した効果が得られた。	4	「蛍灯」・「ひな祭り」等のイベントを実施し、榊原温泉の活性化を図るとともに、東京・三重テラスでの「津デイ」をはじめとした県内外のイベントに参加し、誘客の促進を図れた。また、平成28年度実施の温泉調査で実証された入浴効果をイベント、インターネット、パンフレット等で広くPR活動を行い、榊原温泉及び地域の振興に係る継続した取組を始めた。	拡充・充実	平成29年度は「蛍灯」・「ひな祭り」等の観光誘客促進イベントの実施、県内外のイベントへの参加により、榊原温泉の活性化と誘客の促進を図ることができたことから、平成30年度以降についても、榊原温泉の発展を目的とする榊原温泉振興協会が実施する事業の継続した支援を通して、榊原温泉及び地域の振興を図る。
久居・地域振興課	公有財産管理事業	「副都市核としてふさわしい賑わいある、安心・安全に暮らせるまちづくり」 ・副都市核としての賑わいの創出及び駅周辺の利便性の向上 ・災害時における、安心・安全に暮らせるまちづくりの推進	久居交流広場整備工事の実施	久居駅周辺地区都市再生整備事業の個別事業として、進捗を図る。			久居交流広場整備工事の実施	久居交流広場整備工事が完了した。	4	久居駅周辺地区都市再生整備事業の個別事業として、久居交流広場整備工事を実施した。	廃止	久居総合支所所管分の久居駅周辺地区都市再生整備事業は、平成29年度を以て完了した。
久居・地域振興課	出張所管理運営事業（久居総合支所）	高齢率が高い地域であり、地域に密着した窓口業務を目指すとともに、地域コミュニティの拠点として、住みよい地域・環境づくりを推進する。	両出張所の窓口における取扱件数と各施設の利用件数の合計数	地域の市民サービスの窓口としての施設であるため、両出張所における窓口取扱件数と各施設の利用件数の合計数を指標とします。	5,000件	4,737件		目標値から若干下回ったものの、立体駐車場が苦手な方が久居総合支所から出張所へ回っていると考えます。利用者の方には概ね満足をいただけたと思います。	3	目標値は若干下回った要因について、総合支所の移転も大きいですが、マイナンバー申請等の新規の手続きの申請窓口として多く活用されているからだと考えられる。金融機関よりも開設時間が長い、税金等の収納率も高く、榊原農研研修所、久居農村婦人の家とともに車などの交通手段を持たない高齢者にとって市民生活の利便性を確保する上でなくてはならない施設である。	現状維持	今後も市民サービスの窓口として、戸籍・住民基本台帳等の交付事務、市税等の収納を行い、市民生活の利便性に供していく。また、榊原農研研修所・久居農村婦人の家については、貸館業務を通して地域住民との交流を進めることにより、地域振興に寄与していく。
久居・地域振興課	体育館管理運営事業（久居総合支所）	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	利用者数	市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数を指標とします。	55,000人	32,938人		改修工事を11月から3月まで行い閉館したため目標値を下回りました。利用者が固定してきており、平日における昼間の使用効率を上げる必要があります。	3	津市スポーツ施設整備基本構想に基づく施設としての施設管理を行う必要があります。また、今年度は利用者が改修工事のため減少したものの、傾向としては、午前・夜間の利用者は多いものの、午後が少なく、利用者も固定している傾向にあるため、当該時間帯の利用者数の増を視野に対応策を検討していく必要があると考えます。	現状維持	平成30年度インターハイ、平成33年度国体の開催に伴い、平成29年度に玄関の自動ドア設置、トイレ等のリニューアルなどの改修工事が実施されました。施設全体の老朽化が進んでいますが、定期的な利用者があることから修繕対応を行いながら運営していきます。

久居総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
久居・地域振興課	グラウンド管理運営事業(久居総合支所)	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	利用回数	市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用回数を指標とします。	300回	226回		目標値に対し実績値がやや下回り、所定の目的は達成できませんでした。施設管理者が常駐しておらず、目的外使用や無断使用がみられることから、適切な管理の在り方を検討していく必要があります。	3	津市スポーツ施設整備基本構想に基づく施設としての施設管理を行う必要があります。利用ニーズもあるため老朽化した施設を修繕を加えながら対応していく必要があります。	現状維持	利用ニーズもあるため老朽化した施設に修繕を加えながら対応していきます。また、隣接する弓道場跡地を駐車場として活用し、利用者の利便性を高めています。
久居・地域振興課	テニスコート管理運営事業(久居総合支所)	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	利用者数	市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数を指標とします。	30,000人	33,097人		目標値をやや上回る実績値を得ることができ、所定の目的を達成することができました。	3	施設の老朽化に対応して、平成22年度にコート整備を行ったことにより、利用者数は増加しています。	現状維持	照明等の老朽化が進んでいるうえ、維持管理が容易でない設備となっているため、照明のLED化を含め改修を検討していきます。
久居・地域振興課	プール管理運営事業(久居総合支所)	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	利用者数	市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設を指標とします。	30,000人	34,674人		目標値を超える実績値で、利用者数はほぼ昨年と同数となっています。	3	施設の性質上、天候により利用者数が大きく変動します。平成26年度営業終了後、大規模改修を実施したため、平成27年度以降においては、利用者数は増加傾向にあります。	拡充・充実	平成26年度営業終了後の大規模改修が奏功し、利用者数は増加傾向にありますが、平成29年度で津市民プールが閉鎖となることから、平成30年度から更なる利用者の増加が予想されます。
久居・地域振興課	その他運動施設管理運営事業(久居総合支所)	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。	利用者数	市民のレクリエーションの振興及び体力増進を図り、健康で文化的な市民生活に寄与するための施設であるため、利用者数（算定方法を変更）を指標とします。	0人	0人		ゲートボール場は、公園施設となったため利用者数は計上されませんが、固定的な利用者を中心に、総合型地域スポーツクラブの参加者数、利用日数が増えたため、利用者数は目標値を超える実績値を得ることができたと考えられます。	3	今後、津市スポーツ施設整備基本構想においては、公のスポーツ施設としての用途を廃止し管理方法の見直しが行われることから、これに沿った管理運営を行っていきます。	廃止	津市スポーツ施設整備基本構想に沿った施設管理を行っていきます。平成29年度から久居スポーツ公園内ゲートボール場は、条例改正により運動施設としては廃止となり、他の公園内施設と同様の取扱いとなっています。
久居・地域振興課	久居駅東口駐車場維持管理事業(久居総合支所)	久居駅及びポルタ久居等の利用者に対する利便性を高め、利用者数の増大を図ることによって駅周辺の活性化に繋げるとともに、駅周辺の駐車場需要に対応することにより、円滑な道路交通の確保及び駅周辺の交通安全を図ります。	駐車場利用台数	車での久居駅利用者に対する利便性を高めることで、駅周辺の駐車場需要に対応し、更に利用者数の増大を図ることで駅周辺の活性化に繋げることを目的とする施設であるため、駐車場を利用した延べ台数を指標とするものです。	12,000台	23,676台		昨年度に引き続き、久居駅周辺地区都市再生整備事業に伴う工事により、平成29年度は収容台数が65台へ減少し、それに伴い利用台数が減少した。	4	平成28年6月からの久居駅周辺地区都市再生整備事業に伴い陸上自衛隊との用地交換が完了し、収容台数が昨年度の177台から65台となり、利用台数が減少した。時期によっては、駐車場需要に対応できないことがあったが、駅周辺における道路の効用保持と円滑な道路交通の確保を図ることができた。	廃止	久居駅周辺地区都市再生整備事業に伴う工事により、新駐車場の供用開始と同時に現在の駐車場は廃止する見込みのため、廃止までは適切な維持管理を行い、駅利用者等の利便性を少しでも確保していく。

久居総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
久居・地域振興課	榊原自然の森温泉保養館維持管理事業（久居総合支所）	名湯榊原温泉という貴重な地域資源を適切かつ有効に活用し、観光振興及び湯を媒体としたコミュニティの推進並びに市民の健康増進を図り、併せて榊原温泉と地域の活性化を図る。	施設利用者数	榊原温泉を活用した公共的な目的を持った公共温浴施設であることから利用者数を指標とする。	170,000人	163,384人		利用者の高齢化及び平成30年2月からの故障による露天風呂の休止のため、入館者数が減少した。	3	施設の老朽化と運営状況から早急な整備方針の決定が必要であり、「施設調査及び運営状況調査」を実施した結果、施設、設備とも早急な整備が必要であることが明確になったため、公設整備の検討を行った。今後の健全な施設運営及び榊原温泉全体の活性化を図るためには、官民連携による整備との比較・検討が必要であることから、民間事業者の意見等を聞くための関心表明の募集を行う準備を行った。	拡充・充実	平成29年度は「施設調査及び運営状況調査」を実施し、現状と課題を明確に把握して、公設整備の検討と今後の進め方の検討を行った結果、公設整備と官民連携による整備との比較・検討をするため、平成30年度は民間事業者等に関心表明の募集を行い、整備手法の決定に向けた検討を進める。
久居・地域振興課	観光施設等維持管理事業（久居総合支所）	観光案内施設及びふるさと公園や自然歩道の維持管理に努め、榊原地域の豊かな自然を活用した観光振興に寄与する。	観光施設等の適正な維持管理	榊原温泉全体を対象とした事業であることから、榊原温泉全体の利用客数を指標とするものです。			利用者が快適で安全な利用可能な施設の維持管理	自然歩道とふるさと公園の維持管理を適切に行った。榊原自然歩道の看板修繕を行った。	4	自然歩道及びふるさと公園を適正に維持管理を行い、老朽化し表示が不明瞭な榊原自然歩道に関する看板について修繕を行い、榊原自然歩道に関する表示を明瞭にし榊原自然歩道利用者が快適で安全な利用ができるようになった。	拡充・充実	地元団体との連携や他部局や県などと連携し、自然歩道やふるさと公園の魅力や楽しみ方等の情報を自然歩道等の利用者の増加を図り、榊原地域の観光振興に貢献していく。 自然歩道については、コースが林道と重複する箇所があるため、林業事業と連携しながら自然歩道をより安全で快適な施設となるよう目指す。
久居・福祉課	社会福祉事務所管理運営事業（久居総合支所）	久居総合支所福祉課における事務及び予算等の調整、久居地域の福祉事業の施行事務及び市単独事業の調整を行うことにより、効率的な事務執行及び円滑な事業の推進を図ります。	効率的な事務執行	事務事業の効率的な執行がコスト削減につながるため、上記の指標とするものです。			効率的かつ合理的な事務の執行による福祉課の円滑な運営	福祉課の円滑な運営ができました。	4	久居総合支所福祉課における事務及び予算等の調整、執行を適正に行い、効率的な事務執行及び円滑な事業の推進ができました。	現状維持	事務及び予算等の調整、執行を適正に行うことにより、更なる効率的な事務執行及び円滑な事業推進を図ります。
久居・福祉課	社会福祉施設維持管理事業（久居総合支所）	津市久居総合福祉会館の維持管理運営事業 市民の福祉、文化教養及び体力の増進を図ることにより、健康で文化的な市民生活に寄与します。 ・コミュニティ活動の場を提供する事業 ・地域福祉活動及びボランティア活動事業 ・教養の向上及びレクリエーションに係る事業	施設の利用者数	施設の管理運営についての成果は、多くの市民が利用していただき施設の設定目的である健康で文化的な市民生活に寄与することにあるため、当該施設の利用者数を指標とするものです。	85,000人	90,130人		目標値に達しており、当初の目的を達成できました。今後も市民の福祉、文化教養及び体力の増進を図るため、施設の整備等の充実を行っていきます。	4	コミュニティ活動の場としての役割を果たしており、利用者の福祉、文化教養及び体力の増進を図るための事業推進ができました。	現状維持	引き続き効率的な施設の管理運営を行うとともに、老朽化による施設等の修繕を行いながら、利用者の快適環境の整備に努め、健康で文化的な市民生活に寄与する。

久居総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
久居・生活課	会館、市民センター管理運営事業（久居総合支所）	立成コミュニティセンターについては、地域の自主的な活動を育成し、他地域との交流を図るとともに、地域のコミュニケーションの核となる施設として、様々な集会、会議等に利用することにより、文化の向上及び生涯学習の振興を図り、地域コミュニティの充実につなげていく。	利用件数	文化の向上及び生涯学習の振興を図り、地域社会の発展に寄与する施設であるため、利用件数を指標とします。	60件	66件		自治会をはじめとする地域の各種団体数は前年並みであり、コミュニティ活動としては有益である。	3	目標値を達成しており、当該施設が立成公民館の機能も備えていることから、地域のコミュニケーションの核となる施設としての機能を十分に発揮していると評価できる。	現状維持	地域のコミュニケーションの核となる施設としての機能を十分に発揮しているが、収容能力により手狭に感じられることもあることから、これ以上の拡充は難しく現状維持としたい。
ポルタひさいふれあいセンター	ポルタひさいふれあいセンター管理運営事業（久居総合支所）	休日、夜間の開所をすることにより、戸籍・住民票等の交付、市公共料金の収納を行い、市民の利便性の向上を図り、住みよい街づくりに貢献します。当センターにおいて行う貸館事業は、市民の交流、情報共有の場、ふれあいの場、健康増進の場を提供することが主眼であり、このことにより地域の振興を図ることを目的とします。	窓口における取扱件数と施設の利用件数の合計数	市民サービスの窓口としての施設であるため、窓口取扱件数と施設の利用件数の合計数を利用者の満足度(利便性)の指標とします。	35,000件	31,541件		目標を若干下回りましたが、来庁者、利用者の方には満足いただけているものと思います。	3	休日・夜間の市民サービスの窓口として、戸籍・住民基本台帳等の交付事務、市税等の収納を行い、市民生活の利便性に供しています。また、貸館業務を通して、地域住民の交流と親睦に寄与している。	現状維持	業務の効率化、職員の資質向上に努めるとともに、市民サービスの窓口及び貸館業務を通して、市民生活の利便性の向上や地域住民の交流・親睦に寄与していく。